

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高雅な徳性	D. 高い知性、善美な情操、高雅な徳性の総合	
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2
24MLAR2212	修士設計	2	5年半で修得した「真」「善」「美」の集大成として、各自がテーマを設定し、それに基づく研究を進め、得られた新たな知見を空間構成として総合化し、その成果を建築・景観設計にまとめプレゼンテーションする。これにより修士課程修了後、建築・景観設計技術者として、社会で自律的に行動し、活躍する上で必要な高度知的専門職能を確立することを目的とする。	「真」「善」「美」を互いに総合し、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。また人間的な住環境の形成のために、継続的に学習できる能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○
24MLAR2202	修士論文	2	5年半で修得した「真」「善」「美」の集大成として、各自がテーマを設定し、それに基づく研究を進め、得られた新たな知見に基づき論的展開を進め、その成果を学術論文にまとめプレゼンテーションする。これにより修士課程修了後、建築・景観設計技術者として、あるいは専門家、研究者として自律的に行動し、活躍する上で必要な高度知的専門職能を確立することを目的とする。	「真」「善」「美」を互いに総合し、安全で、使いやすく、美しい、真に人間的な住環境を創生するために重要な問題解決能力を実践的に修得する。また人間的な住環境の形成のために、継続的に学習できる能力を身につけ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	
24MLAR1322	建築家の職能と倫理	1	実務実習において実践的な設計実務を修得する上で重要な、一人の人格としての建築家の職能、社会的役割、責任、倫理、建築家を取り巻く社会問題に関する実践的な知識・能力を修得することを目的とする。	建築家を取り巻く社会の仕組みや現代社会の問題点を理解する能力を修得し、社会的義務と責任を重んじ、自律的活動ができる職能人としての自覚を形成する。								◎	
24MLAR1324	建築計画マネジメント論	1	実務実習において実践的な設計実務を修得する上で重要な、建築や都市の計画・開発から設計・工事監理に至る幅広い業務に携わる専門家として必要な倫理と実務的な業務の流れを学ぶ。設計・工事監理業務を適正かつ円滑に進めるための、幅広くかつ実践的なマネジメント知識・能力を修得することを目的とする。	コスト、スケジュールなど様々な制約条件と、建築設計・工事監理を取り巻く社会の仕組みや現代社会の問題点を理解した上で、自律的活動ができる職能人として、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。				◎			◎	○	○
24MLAR1361	建築構造設計論A	1	建築設計における構造計画・構造設計は、建築の形態や空間に大きな影響を与えるとともに、建築の物理的存在を保障するものであり、その技術は建築技術者の素養として必須となっている。実務上における構造設計の体系や規範を学習し、建築設計における構造設計の重要性と、その基礎的技術を実践的に修得することを目的とする。	建築の安全性を確保するために重要な、構造設計にかかわる基礎的技術を積極的に吸収する。吸収した技術を踏まえて、「強」の視点から、空間を構成する実践的能力を修得する。		◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅 な 徳 性	D. 高い知性、 善美な情操、高 雅な徳性の総合			
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2		
24MLAR1442	景観建築特論	1	先端的な景観建築の事例研究等を通して、景観建築の現代的な役割を理解し、具体的な景観建築の設計に展開するための知見を得ることを目的とする。	景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値と、国際社会、地球環境とのかかわりを理解するために必要な実践的知識を修得し、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。							◎	○	○	○	
24MLAR2431	景観生態学特論	2	生態系機能を発揮させ続けていくために必要な地域計画や土地利用施策に、科学的・論理的基盤を提供する学問である景観生態学について、その理論と研究手法について理解を深め、地域計画や土地利用へ応用することを目的とする。	景観生態学に基づき、適切な地域計画や土地利用を理解する能力を身につけることにより、自然との共生の視点から住環境を創生する実践的能力を向上させる。							◎	○			
24MLAR1451	建築都市緑化特論	1	環境に配慮した最新の緑化技術について事例に即して学び、景観建築設計に活用できるようにすることを目的とする。さらに環境配慮型の緑化を目指した栽培試験を行い、建築・都市緑化に適した植物の選択および低投入・省力型の管理法を検討する。	建築・都市緑化に適した植物やそれを用いた緑化技術を学ぶことにより、自然との共生の視点から住環境を創生する実践的能力を修得する。									○	◎	○
24MLAR1422	景観緑地計画特論	1	景観建築分野における基本的な緑化計画の理論や手法について学ぶとともに、基本構想や基本計画等、各計画レベルにおける具体的な計画技術の修得を図ることを目的とする。	緑化計画の理論や手法、および具体的な計画技術を修得することにより、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。				◎	○				○	○	○
24MLAR2461	景観緑化学特論	2	森林の再生技術や、緑化工法に関する理論や技術、さらに緑地が持つ防災機能や環境機能について学び、景観建築設計に活用できるようにすることを目的とする。また、建築・都市緑化への応用を念頭に、緑の療法的効果を取り入れた植栽を計画、作成、管理する。	安全、快適で自然と共生した建築・都市緑化を行うために重要な、緑化学にかかわる基礎的・先端的技术を積極的に吸収するとともに、吸収した技術を踏まえて空間を構成する実践的能力を修得する。			◎	○				○	○		
24MLAR1424	景観計画論	1	国内外の景観計画に関する歴史を概観し、その思想と展開手法、ならびに実現された景観について理解するとともに、景観形成史の流れを把握する。そのうえで、計画立案に先立つ基礎調査として必要な各項目の内容について理解することを目的とする。	自然との共生の視点を持ちつつ、機能的で文化的な景観を計画するために必要な実践的知識を修得し、真に人間的な住環境を創生するために必要な実践的知識を修得する。				◎			○		○		
24MLAR2421	景観設計論	2	景観建築において、構想や計画を具現化するために必要不可欠な、基本設計や実施設計についての理論や手法の習得を目的とする。	自然との共生の視点を持ちつつ、機能的で文化的な景観を設計するために必要な実践的知識を修得し、真に人間的な住環境を創生するために必要な実践的知識をより向上させる。				○			○		◎		
24MLAR1501	景観建築フィールドワークVA	1	建築物や町並み、公園、庭園、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、修士1年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的、実践的に学ぶ。またレポートの作成等を通して、見学対象をより深く調査、理解、考察する。	修士1年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、修得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や自然環境、地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を身につけ、自立的活動ができる職能人としての自覚を形成することを目指す。		○	○	○			○	◎	○		

